

6月12日(木)に「ぎふ清流文化プラザ」において「第46回岐阜県PTA連合会定期大会」が開催されました。

はじめに本市鵜沼中学校PTA会長でもある阿部雄介岐阜県PTA連合会会長があいさつをされました。いろいろな意味で過渡期にあるPTAという組織ですが、時代の波に翻弄されるのではなく、時代の変化とともに生まれ変わりさらに発展を遂げる契機にしていこうという熱い思いを語られました。

次に表彰式がありました。各務原市PTA連合会は、昨年度、岐阜県PTA研究大会において市P連としての取り組みを発表しましたが、その内容が評価され、岐阜県の堀教育長より直接表彰状をいただきました。また、県の広報紙コンクールで、蘇原中学校PTAが「優秀賞」を、川島小学校PTA、川島中学校PTAが「佳作」を受賞されました。おめでとうございます。



定期大会の後半は、講演会でした。今回は、岐阜県総合医療センター新生児内科主任医長である寺澤大祐さんより「いのちの理由 コウノドリの現場から、あなたへ」という演題で話をしていただきました。ピアノ演奏やテレビ番組の話題など、聞き手を引き付けるパフォーマンスをされながら、過酷な状況で誕生した新生児が少しでも生きていけるよう全力でバックアップする日々の営みを具体的に話されました。思わず目頭が熱くなる場面がいくつもあり感動的な時間を過ごすことができました。